


| アダン | | タコノキ科 | <i>Pandanus odoratissimus</i> | 在来種 |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------------------------------|--------------------------------|
| 別名 | シマタコノキ | 方言名 | アダヌ、アダンギー、アダナギー | |
| 生育型 | 低木 常緑広葉樹 | 繁殖 | 実生、挿木 | |
|  | | | | |
| 分布 | 熱帯アジア、ミクロネシア、ポリネシア、北オーストラリア、奄美大島以南 | | | |
| 見た目の特徴 | 多数の太い支柱根を持ち、黄赤色に熟する果実を付ける。 | | 用途 | 防風防潮樹、公園樹、街路樹 単一林としての利用が向く。 |
| 植栽・管理のポイント | <ul style="list-style-type: none"> ・ 海岸地域の植栽に適する。 ・ 日当たりが良く、排水の良い場所に植栽する。 ・ 石灰岩性土壌を好む。 ・ 枯葉を適宜除去する。 ・ 病害虫の被害は少ないが、日陰で風通しが悪いとカイガラムシが付く。 | | | |
| 食樹・食草として利用する動物 | <p>【昆虫類】 ガ類：タコノキトガリホソガ、甲虫類：コガネムシ類、その他：バッタ類、タコノキカイガラムシ</p> <p>【その他】 オカヤドカリ類、ヤシガニが果実を採餌</p> | | | |
| 備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など） | 芽は食用として、気根は結索用・モッコ（オーダ）に利用され、葉はアダンバ帽子やムシロ、ハンドバック・バスケットなどを編み物に使われる。 | | | |

オオムラサキシキブ

シソ科

Callicarpa japonica var. *luxurians*

在来種

別名 -

方言名 ミミンガ、ミンミンガー

生育型 低木 落葉広葉樹

繁殖 挿木、株分



分布 朝鮮南部、台湾北部、本州西部以南

見た目の特徴

用途

葉は広楕円形、花は散房花序で淡紫色～紫色、実は球形で紫熟する。庭園樹、生垣

植栽・管理のポイント

- ・ 日陰地にも耐えるが、日当たりの良い場所に植栽する。
- ・ 腐植質が多く湿り気がある土を好む。

食樹・食草として利用する動物

【鳥類】 ヒヨドリやシロガシラなどが果実を採餌

【昆虫類】 ガ類：カクモンヒトリ、クロメンガタスズマ、マタスジノメイガ

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

材は木刀に使われた。

| オキナワツゲ | | ツゲ科 | <i>Buxus liukuensis</i> | 在来種 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|-----|-------------------------------|-----|
| 別名 | － | 方言名 | チギ、サラガマギ、チンギ、ツンギ、ウコールギー、インカンキ | |
| 生育型 | 低木 常緑広葉樹 | 繁殖 | 実生、挿木 | |
|  <p style="text-align: right; font-size: small;">出典：緑化樹木のしおり</p> | | | | |
| 分布 | 沖縄（石垣島、与那国島） | | | |
| 見た目の特徴 | 用途 | | | |
| 葉が大きく、若葉は緑褐色で果実は光沢がない。 | 添景樹、公園木、庭園木、街路樹、生垣 | | | |
| 植栽・管理のポイント | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・排水の良い場所に植栽する。 ・海岸地域の植栽に適する。 ・萌芽力が強く、強剪定に耐える。 ・耐潮性が強い。 ・生長は遅い。 | | | | |
| 食樹・食草として利用する動物 | | | | |
| 【昆虫類】ガ類：ツゲノメイガ、その他：トビイロマルカイガラムシ、ツゲコノハカイガラムシ | | | | |
| 備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など） | | | | |
| 材は印材、櫛材、杖として利用される。 | | | | |

| クサトベラ (テリハクサトベラ) | | クサトベラ科 | <i>Scaevola taccada</i> | 在来種 |
|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------------------------|-----|
| 別名 | — | 方言名 | ハマスーキ、スーキ、スソキ、スーキー、スズキ | |
| 生育型 | 低木 常緑広葉樹 | 繁殖 | 挿木 | |
|  | | | | |
| 分布 | 台湾、南中国、東南アジア、インド、オーストラリア、マダガスカル、種子島以南 | | | |
| 見た目の特徴 | 大きな厚い黄緑色の葉を持つ。テリハクサトベラは、葉の表裏面に繊毛が少なく、光沢がある。 | 用途 | 海岸防潮防風林、公園樹、庭園樹 | |
| 植栽・管理のポイント | <ul style="list-style-type: none"> ・耐潮風性が強い。 ・海岸地域の植栽に適する。 ・特に土質は選ばないが、日当たりが良く、排水の良い砂質土壌を好む。 ・萌芽力は強いので、適宜刈り込む。 | | | |
| 食樹・食草として利用する動物 | 【昆虫類】ガ類：マエジロマダラメイガ、イチジクキンウワバ、甲虫類：ハムシ類 | | | |
| 備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など） | 家畜の飼料として利用される。 | | | |
| ●公園利用者人気アンケート（低木）ワースト3 | | | | |

クチナシ

アカネ科

Gardenia jasminoides

在来種

別名 - 方言名 ウナナギ、カジマヤーギ、マタサカーキ、ナンヌキ

生育型 低木 常緑広葉樹 繁殖 実生、挿木



分布 中国、台湾、関東以南

見た目の特徴

葉は表面に光沢があり、花は風車のような形で強い香りを放つ。果実は成熟すると黄赤色になる。

用途

庭園樹、公園樹、生垣

植栽・管理のポイント

- ・土質は特に選ばないが、保水性の高い土壌を好む。
- ・日当たりが良い場所を好む。
- ・やや内陸部の植栽に適する。
- ・耐潮性がやや弱いので、風当たりの少ない場所を選ぶ。
- ・強剪定に弱い。

食樹・食草として利用する動物

【鳥類】果実をメジロが採餌

【昆虫類】チョウ類：イワカワシジミ、ガ類：オオミノガ、台湾キドクガ、オオスカシバ、その他：クチナシカタカイガラムシ

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

材は彫刻、鋤(スキ)、木釘、果実は食品、漢方薬、布地の染色(黄色)として利用される。

| | | | |
|------|-----|-----------------------|-----|
| クロツグ | ヤシ科 | <i>Arenga engleri</i> | 在来種 |
|------|-----|-----------------------|-----|

別名 - 方言名 マーニ、、マニ、マニン

生育型 低木 常緑樹 繁殖 実生、株分け



分布 台湾、奄美諸島以南

見た目の特徴

葉鞘は、黒い繊維で密に覆われている。実は橙赤色に熟する。芳香が強い。

用途

公園樹、庭園樹

植栽・管理のポイント

- ・ 土壌は特に選ばない。
- ・ 半日陰から日陰まで良く生育する。
- ・ 枯葉は適宜除去する。
- ・ 病虫害の被害は少ない。

食樹・食草として利用する動物

【昆虫類】 チョウ類：クロボシセセリ

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

葉鞘の黒色繊維は水に強く、船の綱や篙として利用される。

| | | | |
|------|------|---------------------------|-----|
| ゲッキツ | ミカン科 | <i>Murraya paniculata</i> | 在来種 |
|------|------|---------------------------|-----|

別名 - 方言名 ギキチャー・ギチチャー・ギキチイ

生育型 低木 常緑広葉樹 繁殖 実生、挿木



分布 台湾、中国南部、インド、東南アジア、日本（琉球列島）

見た目の特徴

芳香を発する花と紅色果実を持つ。

用途

街路樹、添景樹、生垣

植栽・管理のポイント

- ・石灰岩土壌を好む。
- ・乾燥に強い。
- ・やや内陸部から内陸部の植栽に適する。
- ・風当たりの強い場所は避ける。
- ・剪定は徒長枝や込み枝などを切り取り、樹形を整える。
- ・萌芽力は強い。

食樹・食草として利用する動物

【哺乳類】 オリオオコウモリが果実を採餌

【鳥類】 シロガシラが果実を採餌

【昆虫類】 その他：アオバハゴロモ、ミカンクロアブラムシ、コバンマルカイガラムシ、ミカンカイガラムシ

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

材は彫刻・印鑑・ステッキ・櫛として利用される。

女性の爪に果実のぬめりのある樹液をマニュキアとして、束ねて箒として利用される。

サキシマフヨウ

アオイ科

Hibiscus mutabilis var. *spontanea*

在来種

別名 -

方言名 ヌーユーナ、ヤマユーナ、フュー

生育型 低木 落葉広葉樹

繁殖 実生、挿木、取木



分布 台湾、中国、九州南部以南

見た目の特徴

花は淡桃色、白色で開花してから1日で萎む。

用途

庭園樹、公園樹、添景樹

植栽・管理のポイント

- ・ 土壌は特に選ばない。
- ・ 内陸部の植栽に適する。
- ・ 日当たりが良く、排水の良い場所に植栽する。
- ・ 花芽は当年枝に付くので、新芽伸長後は剪定しない。

食樹・食草として利用する動物

【昆虫類】ガ類：ワノメイガ、フタトガリバヤガ、その他：クロトンハナアザミウマ、カイガラムシ類、ワタアブラムシ、コナジラミ類、カメムシ類、ウンカ類、ヨコバイ類

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

材はイカ漁の疑似餌・樹皮は結索用として利用される。

ショウロウクサギ クマツヅラ科 *Clerodendrum trichotomum* var. *esculentum* 在来種

別名 - 方言名 クサギナ、クサヂナ、クチヤナギ

生育型 低木 落葉広葉樹 繁殖 実生



分布 朝鮮、台湾、中国、日本

見た目の特徴

樹皮は灰色の皮目の跡が残る。葉は強烈な臭気があり、花は集散花序からなり白色で芳香がある。実は青熟する。

用途

庭園樹、公園樹

植栽・管理のポイント

- ・日当たりの良い場所に植栽する。

食樹・食草として利用する動物

【昆虫類】甲虫類：クワガタ類

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

材は下駄、器具材、烏賊漁の偽餌木として利用される。

| | | | |
|-----|------|-----------------------|-----|
| ソテツ | ソテツ科 | <i>Cycas revoluta</i> | 在来種 |
|-----|------|-----------------------|-----|

別名 - 方言名 シュカツ、ステツ、サテツ、スーティチ、シチヂ

生育型 低木 常緑広葉樹 繁殖 実生、株分



分布 九州南部、沖縄

見た目の特徴

黒褐色の太い茎、放射状の葉を持つ。

用途

公園樹、庭園樹、街路樹

植栽・管理のポイント

- ・日当たりの良く、排水の良い場所を好む。
- ・特に土壌は選ばない。
- ・下垂した枯葉を除去する。
- ・海岸地域の植栽に適する。
- ・運搬時の衝撃によって腐朽しやすいので、積み降ろし・運搬に注意する。

食樹・食草として利用する動物

【昆虫類】チョウ類：ソテツシジミ、クロマダラソテツシジミ、甲虫類：タイワンカブトムシ、その他：ハンエンカタカイガラムシ

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

救荒植物として、かつての琉球王国時代に推奨された。

生葉は緑肥、枯葉は燃料として利用される。

●公園利用者人気アンケート（低木）トップ3

| | | | |
|-----|------|---------------------------|-----|
| トベラ | トベラ科 | <i>Pittosporum tobira</i> | 在来種 |
|-----|------|---------------------------|-----|

別名 トビラノキ **方言名** トビヤラギー、ウヤヌカザキ、トゥビラギ、トウヒラ

生育型 低木 常緑広葉樹 **繁殖** 実生



分布 南朝鮮、台湾、南中国、東南アジア、オーストラリア、関東以南

見た目の特徴

花には芳香があり、果実は赤色で粘着質で覆われている。

用途

防潮防風樹、公園樹、生垣

植栽・管理のポイント

- ・砂質土壌でやや水分を多く含む場所に適する。
- ・海岸地域の植栽に適する。
- ・萌芽力は強く、刈り込みに耐える。
- ・剪定は徒長枝や込み枝を切り取り、樹形を整える。
- ・耐潮性が強い。
- ・カイガラムシの被害を受けやすい。

食樹・食草として利用する動物

【昆虫類】ガ類：トベラササベリガ、トベラクロスジナミシャク、アマミシロテンエダシャク、ケブカチビナミシャク、その他：アブラムシ類、カイガラムシ類

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

葉は家畜の飼料・魔除けとして、材は薪炭材として利用される。

●公園利用者人気アンケート（低木）ワースト2

ネズミモチ

モクセイ科

Ligustrum japonicum

在来種

別名 -

方言名 サーターギ、サータンギ、サッタキ

生育型 低木 常緑広葉樹

繁殖 実生、挿木



分布 台湾、日本（関東～琉球列島）

見た目の特徴

葉がモチノキに、果実の形がネズミの糞に似る。密生した枝先に穂状に花が咲く。

用途

海岸防風防潮林、庭園樹、添景樹、防火樹、生垣

植栽・管理のポイント

- ・やや湿気のある土壤を好み、陽樹であるが半日陰、やせ地、乾燥地でも生育する。
- ・耐潮風性に強く、生長も早い。
- ・やや内陸部の植栽に適する。
- ・萌芽力は強いので、強剪定が可能である。

食樹・食草として利用する動物

【鳥類】果実をヒヨドリが採餌

【昆虫類】ガ類：オオシモフリスズメ、シマケンモン、ナンカイヒゲブトナミシャク、マエアカスカシノメイガ、その他：アオバハゴロモ、イボタロウムシ、アオキコナジラミ

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

●公園利用者人気アンケート（低木）ワースト1

| | | | |
|-------|------|----------------------------|-----|
| ポチヨウジ | アカギ科 | <i>Psychotria asiatica</i> | 在来種 |
|-------|------|----------------------------|-----|

| | | | |
|-----|-----------|-----|-----|
| 別名 | リュウキュウアオキ | 方言名 | アサカ |
| 生育型 | 低木 落葉広葉樹 | 繁殖 | 実生 |



分布 台湾、南中国、屋久島、種子島以南

| | |
|-----------------------------------------|-----------|
| 見た目の特徴 | 用途 |
| 葉は楕円で大きく光沢がある。小さな白花を多数つける。果実は球形で冬に赤く熟す。 | 公園樹、庭園樹 |

植栽・管理のポイント
 ・山地内に生える。

食樹・食草として利用する動物
 -

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）
 中国では若枝と葉を薬用に使い、喉の炎症などに効くとする。
 沖縄では祭祀に用いられた。

| | | | |
|-----|-------|---------------------------|-----|
| マサキ | ニシキギ科 | <i>Euonymus japonicus</i> | 在来種 |
|-----|-------|---------------------------|-----|

別名 - 方言名 サカキ、イブサナビキ、カニクンプ、フチマンギ、フチマ

生育型 低木 常緑広葉樹 繁殖 実生、挿木



分布 南朝鮮、台湾、日本（北海道南部～九州以南）

見た目の特徴

葉は新緑が鮮やかで美しい。

用途

防風防潮樹、庭園樹、添景樹、生垣

植栽・管理のポイント

- ・ 海岸地域の植栽に適する。
- ・ 生長は早い。
- ・ 萌芽力が旺盛なため、樹形乱雑なりやすいので剪定は強めに行う。

食樹・食草として利用する動物

【昆虫類】ガ類：ハモグリガ、その他：ハモグリバエ類

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

旧暦の1日と15日に仏前に供える。材は薪炭材・杭材として利用される。

| モンパノキ | ムラサキ科 | <i>Heliotropium foertherianum</i> | 在来種 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|-----------------------------------|-----|
| 別名 | — 方言名 インスーキ、スーキ、スソーキ、ガンチョーギー、ハマスーキ、ミーカガンギ | | |
| 生育型 | 低木 常緑広葉樹 | 繁殖 実生、挿木 | |
|  | | | |
| 分布 台湾、熱帯各地、日本（琉球列島） | | | |
| 見た目の特徴 葉は大きく枝端に束生し、絹毛を密布するため柔らかい感じを与える。自然樹形が美しい。 | 用途 海岸防潮防風樹、砂防樹、庭園樹、公園樹、添景樹 | | |
| 植栽・管理のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・ 日当たりの良く、排水のある砂質土壌を好む。 ・ 海岸地域の植栽に適する。 ・ 自然樹形で育てると良い。 ・ 耐潮性が強い。 ・ 強風時に折れるため、事前に剪定する。 | | | |
| 食樹・食草として利用する動物 【昆虫類】 ガ類：ハモグリガ、オキナワモンシロモドキ、その他：ハモグリバエ類 | | | |
| 備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など） 材は軽く、漁師の水中メガネ用の樹木として利用された。 | | | |

クロトンノキ

トウダイグサ科

Codiaeum variegatum

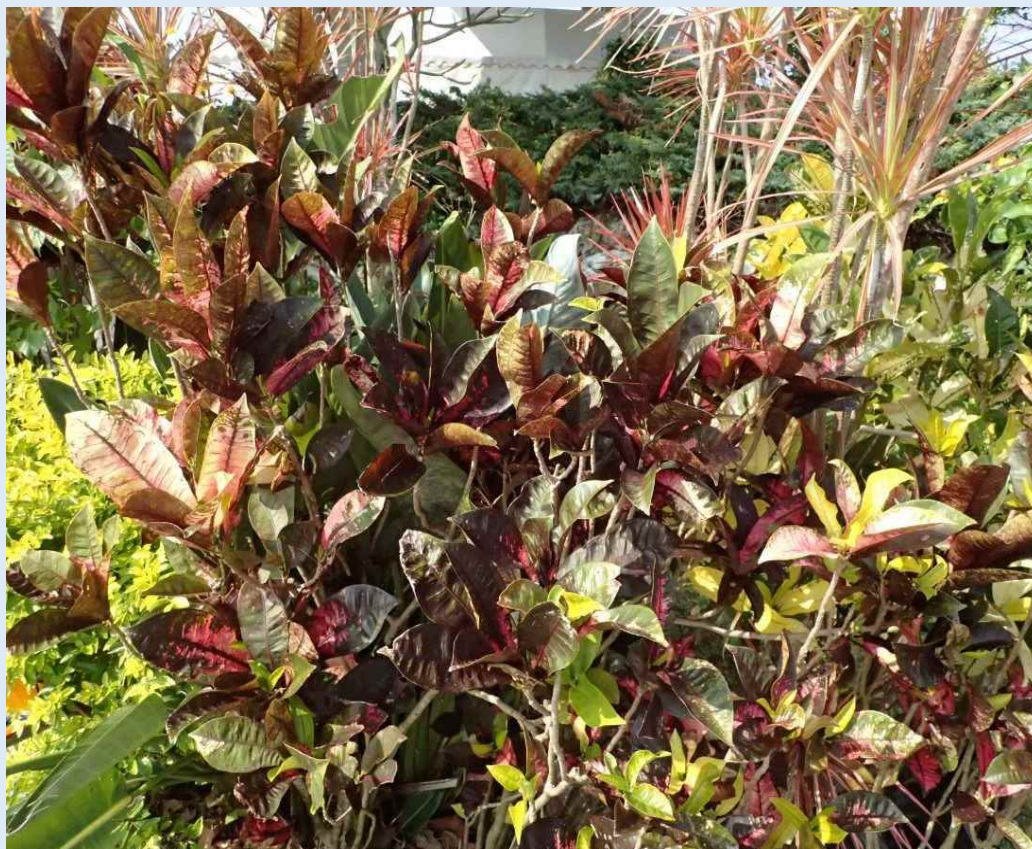
外来種

別名 ヘンヨウボク

方言名 クロトン

生育型 低木 常緑広葉樹

繁殖 実生、挿木、取木



分布 インドネシア、モルッカ諸島

見た目の特徴

葉の色、形状は多種多様で、変化に富み変異しやすい。

用途

庭園樹、公園樹、生垣

植栽・管理のポイント

- ・日当たりが良く肥沃で排水の良い場所を好む。
- ・やや内陸部から内陸部の植栽に適する。
- ・低温（10℃）が続くと落葉することがある。
- ・耐潮風性は弱いので、風当たりの少ない場所に植栽する。
- ・病害虫の被害は少ないが、カイガラムシ類が付きやすい。

食樹・食草として利用する動物

【昆虫類】ガ類：ヤガ類、ヨトウムシ類、シャクガ類、その他：クロトンハナアザミウマ、カイガラムシ類

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

琉球王朝時代から園芸種として親しまれてきたと言われている。

| | | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|-------------------------------------------------------------------|------------|
| 県外産ツゲ類 カラヒメツゲ、セイヨウツゲ | | ツゲ科 <i>Buxus bodinieri</i> <i>Buxus sempervirens</i> | 外来種 |
| 別名 クメジマツゲ (カラヒメツゲ) | 方言名 トウンギ (カラヒメツゲ) | | |
| 生育型 低木 常緑広葉樹 | 繁殖 実生、挿木 | | |
|  | | | |
| 分布 カラヒメツゲ：中国、セイヨウツゲ：台湾、中国、日本 | | | |
| 見た目の特徴 葉は楕円形から倒卵形で明るい緑色をしている。単葉で互生し、鋸歯はない。 | | 用途 添景樹、生垣 | |
| 植栽・管理のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・ 土壌は特に選ばないが、湿気があり肥沃な場所に植栽する。 ・ 萌芽力は強い。 ・ 病害虫の被害は少ない。 | | | |
| 食樹・食草として利用する動物 【昆虫類】 カイガラムシ類 | | | |
| 備考 (人々との関わり・利用方法、市民の評判など) 中国 (唐) から久米島に伝わり、広く植栽されている。 | | | |

テイキンザクラ

トウダイグサ科

Jatropha integerrima

外来種

別名 ナンヨウザクラ

方言名 -

生育型 低木 常緑広葉樹

繁殖 実生、挿木



分布 西インド諸島（キューバ）

見た目の特徴

葉は楕円形でたまにくびれてほこ状になる。花は房状に5~8個咲く。桃色花、橙色花がある。

用途

公園樹、庭園樹、装飾樹

植栽・管理のポイント

- ・ 土壌は選ばないが、やや湿気があり日当たりの良い場所に植栽する。
- ・ 耐潮風性はあまり強くない。
- ・ 内陸部の植栽に適する。
- ・ 剪定は徒長枝を切り詰め、樹形を整える。
- ・ 病害虫の被害は少ない。

食樹・食草として利用する動物

【昆虫類】 その他：カイガラムシ類

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

和名は葉の形がバイオリンを連想させることによる。

開花の風情が日本のサクラに似ていることから、ナンヨウザクラとも呼ばれている。

ハイビスカス類

アオイ科

Hibiscus cv.

外来種

別名 -

方言名 -

生育型 低木 常緑広葉樹

繁殖 実生、挿木、取木、接木



分布 中国南部、インド

見た目の特徴

花は、一重、八重、大きさ、色、形状に様々のものがある。

用途

庭園樹、公園樹、生垣、添景樹

植栽・管理のポイント

- ・土壌は特に選ばない。
- ・小・中輪系は潮風にも比較的強く、強剪定にも耐え丈夫である。
- ・新しい枝に花芽が付くので、年に数回剪定すれば、周年花が咲く。
- ・大輪品種は根が弱いので、接木で増殖する。

食樹・食草として利用する動物

【鳥類】メジロが吸蜜（盗蜜）する。

【昆虫類】ガ類：ワタノメイガ、その他：クロトンハナアザミウマ、アカホシカメムシ、ハムシ類、アブラムシ類、カイガラムシ類

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

南中国や太平洋諸島には原種のブッソウゲがあるので、自然交配、人工交配で多様な品種が出現している。

●公園利用者人気アンケート（低木）トップ1

| ブッソウゲ | | アオイ科 | <i>Hibiscus rosa-sinensis</i> | 外来種 |
|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------|------------------|
| 別名 | リュウキュウムクゲ | | 方言名 | アカバナ、グソーバナ |
| 生育型 | 低木 常緑広葉樹 | | 繁殖 | 挿木、取木、接木 |
|  | | | | |
| 分布 | 中国南部、インド | | | |
| 見た目の特徴 | 花は、一重、八重、大きさ、色、形状に様々なものがある。 | | 用途 | 防潮防風林、公園樹、生垣、添景樹 |
| 植栽・管理のポイント | <ul style="list-style-type: none"> ・ 土壌は特に選ばない。 ・ 生長が早い。 ・ 日当たりの良い場所に植栽する。 ・ 防潮防風性に優れる。 ・ 花芽が当年枝に付くので剪定は1~2月が良い。 ・ 強剪定にも耐える。 | | | |
| 食樹・食草として利用する動物 | <p>【鳥類】メジロが吸蜜（盗蜜）する。</p> <p>【昆虫類】ガ類：ワタノメイガ、その他：クロトンハナアザミウマ、アカホシカメムシ、ハムシ類、アブラムシ類、カイガラムシ類</p> | | | |
| 備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など） | <p>沖縄への渡来は16世紀頃と言われる。葉は飼料、緑肥として利用される。</p> | | | |

マツリカ

モクセイ科

Jasminum sambac

外来種

別名 モウリンカ

方言名 ムイクワ、ムイカ、マツリ

生育型 低木 常緑広葉樹

繁殖 実生、挿木、株分



分布 中国、インド、スリランカ

見た目の特徴

枝の先端にまとまって咲く強芳香の花を付ける。

用途

観賞植物

植栽・管理のポイント

- ・ 日当たり良い場所に植栽する。
- ・ 砂質土壌を好む。
- ・ 樹形が乱れやすいため、こまめな剪定が必要である。
- ・ 病害虫の被害は少ない。

食樹・食草として利用する動物

—

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

茶の香料作物として利用される。